

梶山義晋(カジヤマ ヨシノブ)
平成19年度4次隊 上下水道 ナミビア共和国

プロフィール

大学時代に知人より途上国での 水 や衛生状況を聞く機会があった。その折に自分を振り返った時、恵まれている自分の生活には感謝してない事に気づいた。同時に「開発途上国で何かを遣り遂げたい」と国際協力の道に興味を持ち、青年海外協力隊の門を叩きました。私は滋賀県立国際情報高校電子機械科を卒業した後、摂南大学機械工学科へ進学し計7年間で多くの機械基礎を学び、その後、東京で建設現場の監督業務を5年間経験し、協力隊に参加する運びとなりました。

ナミビアに於いては、「仕事は協力して」と「技術の移転」の2点を責務と思い常に持ち日々の活動に励んでいます。

ナミビア共和国の気候及び文化紹介

ナミビア共和国(以下、ナミビア)はアフリカ大陸の南部に位置し、1991年に独立した比較的新しい国です。国土は日本の約2.2倍の国土を持ち、人口は約200万人です。人口密度は世界で2番目に低い国です。ナミブ砂漠:赤い砂漠、ヒンバ族:数少ない裸族、Fish River Canyon:世界で2番目に大きな渓谷等の観光地が有り、近年は日本人観光客も増えています。

ナミビアは、13部族、13州(Region)構成さあれています。主な部族としてはオバンボ族、ヘレロ族、ダマラ族、ヒンバ族等が主な部族です。ナミビア人の主食としては、ポリッジと呼ばれるトウモロコシの粉を擲り潰した粉をお湯で溶いた柔らかいお餅に似た物を食べます。また、お肉を良く食べます。山羊、羊、ロバ、牛、鳥は良く食べられています。

ナミビアの気候は、夏・雨季・冬があり日本とは反対の気候です。夏時期には気温は30度後半ですが湿度が非常に低く過ごしやすいです。また、冬期の日中は20度後半で、夜は0度近くまで気温が下がります。

ナミビアは、昔から金・銀・銅・スズ・ダイヤモンド等の鉱石が大量に採掘出来、近年では天然ガスが採掘出来る様で、資源・外貨共に豊かな国であると言われています。しかし、この穏やかで資源豊かなナミビアでも多くの問題がたくさんあります。失業率が世界で2番目に高い事(2007年度資料)、エイズの感染率が国平均で約24%と非常に高い事。さらに、エイズの感染率では10代~40代の性に関して活発な年代においては60%とも70%言われている現状もあります。

活動、並びに生活について

私の任地における活動は、ウサコス町役場(Usakos Municipality)のテクニカルオフィサーとして活動をしています。主な活動内容としては、作業員と一緒に様々な現場へ行き一緒に作業する中での問題点等を考え



Community stand pipe 点検

る事の大切さ、仕事をする事を教える事、町役場自体で各種のプロジェクトを行える様にする為に指導者の育成等の活動を行っています。自分が活動を行っている中での目標としては、一つは自らの力での発展・進歩、もう一つは日本人がナミビアで活動していたと言う事がナミビア人の気持ちに残る事です。

ナミビアではアパルトヘイトの影響が残っている為、未だに気持ちの面で 100%自律出来ていない現状があり「自分達では難しい事は出来ない」と思っている様に強く感じる。しかし、彼等は知識も経験も持っています。そこで目標としては、「まず自分達で挑戦してみよう」と思って貰える事を念頭に置いて活動に励みたいと思います。現在、町役場も新たなプロジェクトとして貧困街を含む居住区のインフラ整備の計画をしています。しかし、そのプロジェクトもコンサルタント会社に頼っています。そこで、今後の任期はそのプロジェクトに力を入れて行こうと思っています。他にもコンピューターの使い方の指導、数学の指導等出来る限り役場の為に力を入れて行こうと思っています。

私がナミビアに来て活動をしている中で色々と感じる事がありました。悔しかった事は、やはり言葉での問題です。上司に活動についての話をした時に「お前の英語は分からない」と言われた事や、日本人ボランティアを理解してもらえなかった事です。当初、意見・改善点等の話をした時やレポートを提出した時、半年以上は聞く耳を持って貰えなかった。しかし、8ヶ月が経った時を境に同僚や上司から意見を聞き入れてもらい、矛先を合わせて話し合いが出来、お互いを尊重し合えた事が嬉しかった事です。その時に思った事は、初めは自分の意見や考えを押し付けていた様に感じた。やはり現地の組織、やり方をまず受け入れる事が重要と感じました。

私は任期が残り1年少々残っていますので、現地の考え、習受け入れて、目標に向かって、日々活動に励みたいと思っています。



Site meeting



作業員集合写真



水道メーター取替え



埋設給水管緊急補修